

ももが行くほかいどう

くいしん坊のスロー旅

vol. 62

はるきちさんと呼ばれる

有機農家の新しい直売所の巻



有機農業を目指す

今回のスロー旅は石狩市へ。有機野菜を手掛け、直売所を持つ「はるきちオーガニックファーム直売所」へ、小林卓也さんと芳見さんご夫婦を訪ねました。

農家の四代目という卓也さんですが、農家を継ぐということはほとんど考えていなかったといいます。北大工学部の子生時代、地質と地下水の研究をしていましたが、地質や地下水のことを知れば知るほど農業のあり方を考えるようになり「それじゃ、自分が農家になるのが早いのかも」と卒業後、一年経った二〇〇四年から家の休耕地を耕し始めました。また、学生時代のバイト先「居酒屋はるきち」で食べたオーガニック野菜のおいしさに衝撃を受けた卓也さん。「これが僕のオーガニック野菜の原点なので農園名にはるきちとつけました」とのこと。「はるきち」にはこんな理由があったのです。

そして、ほぼ手探りの独学で有機農法を始めた中、二〇〇六年に有機農法の先進国といわれるキューバを訪れた。さまざまな政治的理由から有機で野菜を作らなければならなくなったとはいえ、どんな環境でも有機で野菜が作れるんだと、市場に並ぶ色とりどりの野菜を見て、さらに衝撃を受けたと言います。有機農法を始めた頃は、うまくいかないことも多かった卓也さんですが、冬の農閑期に国内の有機農家を訪ねきちんと勉強し始めました。



●文・絵／すずきもも
イラストレーター&絵本作家。さまざまな媒体のイラストや
エッセイ、絵本の執筆などで活躍。札幌市在住。



はるきちオーガニックファーム 直売所

石狩市花畔363-13(花畔神社西隣) JR札幌駅より地下鉄南北線麻生駅下車、バスにて花畔停下車、徒歩約2分
営業時間／春(4月27日～6月23日)夏(7月6日～11月3日) ※春夏ともに9:00～12:00
定休日／春は月・火、夏は月・火・木 TEL／080-4046-1116 <https://harukichi-farm.com/>

家族とスタッフと魅力的な有機農家を目指す

次第に同年代の仲間も増え知見が広がり美味しい野菜を作るための方法としての有機農業をめざします。卓也さんは「決して有機だから良いということじゃないんです。食べ物だからまず美味しくなくちゃ。その美味しい野菜を作るためには、有機農法が良いのです」。二〇二一年に芳見さんと結婚し、やがて子どもが生まれると、子どもの糧を作ることは尊いことと、だんだんとその思いが強くなったと言います。

昨年、母屋の隣にあった古い直売所の場所に、自分達の家と新しい直売所を作りました。木の香りがする直売所が完成し、今年から営業が始まります。「人の暮らしに寄り添った日常に溶け込む直売所にしたい」と卓也さん。野菜を地元の人に普段の食事で食べてもらいたいのだそうです。「旬には旬の美味しさがあって、その美味しさを知ってもらいたい」と農園ツアーも行っています」と芳見さんが話します。

また、農園ではさまざまなスタッフが働いています。今までもここから新規就農者として何人か巣立ち、この春にも一人独立します。「オーガニックの裾野を広げたいので、有機をやる仲間をコソコソと増やしています」と卓也さん。今は有機の技術も確立してきているし、いろんな人が関わるような魅力的な有機農業を目指してどんどん夢は広がっています。